

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年 4月 1日 至 平成20年12月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失 (△)	△25,385
減価償却費	202,991
減損損失	7,466
のれん償却額	12,612
引当金の増減額 (△は減少)	△15,168
受取利息及び受取配当金	△18,268
支払利息	13,815
持分法による投資損益 (△は益)	7,270
固定資産廃棄損	6,253
投資有価証券売却損益 (△は益)	△2,998
投資有価証券評価損益 (△は益)	6,401
売上債権の増減額 (△は増加)	195,621
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△53,913
仕入債務の増減額 (△は減少)	△206,367
その他	△47,538
小計	82,792
利息及び配当金の受取額	22,978
利息の支払額	△16,065
法人税等の支払額	△27,519
営業活動によるキャッシュ・フロー	62,186
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△144,291
有形固定資産の売却による収入	7,887
無形固定資産の取得による支出	△45,198
投資有価証券の取得による支出	△15,788
投資有価証券の売却による収入	12,816
その他	△2,684
投資活動によるキャッシュ・フロー	△187,258
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	171,562
長期借入れによる収入	20,983
長期借入金の返済による支出	△871
社債の発行による収入	66,925
社債の償還による支出	△146,662
配当金の支払額	△24,460
その他	△31,843
財務活動によるキャッシュ・フロー	55,634
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,347
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△74,785
現金及び現金同等物の期首残高	547,844
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	8,772
現金及び現金同等物の四半期末残高	481,831

当連結会計年度より、「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

①当第3四半期[直近3ヶ月]（自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日）

（単位：百万円）

	テクノロジー ソリューション	ユビキタス プロダクト ソリューション	デバイス ソリューション	その他	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	664,719	182,106	128,602	78,470	1,053,897	-	1,053,897
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	20,421	23,845	10,885	26,788	81,939	△81,939	-
計	685,140	205,951	139,487	105,258	1,135,836	△81,939	1,053,897
営業利益又は営業損失（△）	20,228	△11,508	△21,148	398	△12,030	△13,151	△25,181

②当第3四半期[累計]（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

（単位：百万円）

	テクノロジー ソリューション	ユビキタス プロダクト ソリューション	デバイス ソリューション	その他	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	2,138,754	643,528	454,366	271,031	3,507,679	-	3,507,679
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	71,307	83,871	36,104	94,897	286,179	△286,179	-
計	2,210,061	727,399	490,470	365,928	3,793,858	△286,179	3,507,679
営業利益又は営業損失（△）	77,606	△2,622	△28,461	8,192	54,715	△41,354	13,361

注1) 事業区分は製品・サービスの種類及び販売方法等の類似性を考慮して区分しております。

2) 各事業の主要製品・サービスの内容は以下のとおりです。

1. テクノロジーソリューション

システムインテグレーション（システム構築）、コンサルティング、専用端末装置（ATM、POSシステム等）、アウトソーシングサービス（情報システムの一括運用管理）、ネットワークサービス（情報システムに必要なネットワーク環境の提供及びネットワークを利用した各種サービスの提供）、システムサポートサービス（情報システム及びネットワークの保守・監視サービス）、情報システム及びネットワーク設置工事、各種サーバ（メインフレーム、UNIXサーバ、基幹ISAサーバ、PCサーバ）、ストレージシステム、各種ソフトウェア（OS、ミドルウェア）、ネットワーク管理システム、光伝送システム、携帯電話基地局

2. ユビキタスプロダクトソリューション

パソコン、携帯電話、HDD（ハードディスクドライブ）、光送受信モジュール

3. デバイスソリューション

LSI（ロジック、システムメモリ）、電子部品（半導体パッケージ、SAWデバイス等）、機構部品（リレー、コネクタ等）

4. その他

オーディオ・ナビゲーション機器、自動車制御用電子機器、プリント板

3) 23ページ「4. その他 (2) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」（連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱いの適用、完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更）に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より会計処理基準を変更しております。なお、これらの変更による各セグメントへの影響は軽微であります。

【所在地別セグメント情報】

①当第3四半期[直近3ヶ月]（自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日）

（単位：百万円）

	日本	EME A	米州	APAC・中国	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	760,492	133,371	78,015	82,019	1,053,897	-	1,053,897
(2) セグメント間の 内部売上高	98,199	1,632	4,047	70,419	174,297	△174,297	-
計	858,691	135,003	82,062	152,438	1,228,194	△174,297	1,053,897
営業利益又は営業損失（△）	△17,301	1,396	△439	3,190	△13,154	△12,027	△25,181

②当第3四半期[累計]（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

（単位：百万円）

	日本	EME A	米州	APAC・中国	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	2,453,438	466,125	279,843	308,273	3,507,679	-	3,507,679
(2) セグメント間の 内部売上高	355,510	6,663	14,459	242,987	619,619	△619,619	-
計	2,808,948	472,788	294,302	551,260	4,127,298	△619,619	3,507,679
営業利益又は営業損失（△）	44,754	1,638	1,021	8,310	55,723	△42,362	13,361

注1) 国又は地域の区分は地理的近接度及び事業活動の相互関連性を考慮して区分しております。

2) 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

1. EME A（欧州・中近東・アフリカ）…………… イギリス、スペイン、ドイツ、フィンランド、オランダ
2. 米 州 …………… 米国、カナダ
3. APAC（アジア・パシフィック）・中国…………… オーストラリア、タイ、ベトナム、フィリピン、シンガポール、韓国、台湾、中国

3) 23ページ「4. その他 (2) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」（連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱いの適用、完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更）に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より会計処理基準を変更しております。なお、これらの変更による各セグメントへの影響は軽微であります。

【海外売上高】

①当第3四半期[直近3ヶ月]（自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日）（単位：百万円）

	EMEA	米州	APAC・中国	計
I 海外売上高	146,853	84,799	99,196	330,848
II 連結売上高				1,053,897
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合（%）	14.0	8.0	9.4	31.4

②当第3四半期[累計]（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）（単位：百万円）

	EMEA	米州	APAC・中国	計
I 海外売上高	510,483	316,837	374,244	1,201,564
II 連結売上高				3,507,679
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合（%）	14.6	9.0	10.7	34.3

注1) 国又は地域区分は地理的近接度及び事業活動の相互関連性を考慮して区分しております。

2) 各区分に属する主な国又は地域

1. EMEA（欧州・中近東・アフリカ）…………… イギリス、スペイン、ドイツ、フィンランド、オランダ
2. 米州…………… 米国、カナダ
3. APAC（アジア・パシフィック）・中国…………… オーストラリア、タイ、ベトナム、フィリピン、シンガポール、韓国、台湾、中国

3) 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

4) 23ページ「4. その他（2）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」（完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更）に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より会計処理基準を変更しております。なお、この変更による各セグメントへの影響は軽微であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

① 剰余金の配当

平成20年5月23日開催の当社取締役会決議に基づき、第1四半期連結会計期間に剰余金の配当を行った結果、利益剰余金が10,345百万円減少しております。また、平成20年10月29日開催の当社取締役会決議に基づき、第3四半期連結会計期間に剰余金の配当を行った結果、利益剰余金が10,336百万円減少しております。

② 海外連結子会社の国際財務報告基準（IFRS）適用

当社グループの海外連結子会社においては、平成17年度の英国のFujitsu Services Holdings PLC（その連結子会社を含む）を始め、オーストラリア、シンガポールの子会社等でIFRSを適用済でしたが、第1四半期連結会計期間より全ての海外子会社に適用いたしました。第1四半期連結会計期間より新たにIFRSを適用した海外子会社においては、会計処理基準の変更に伴い過年度に遡って会計処理が変更され、当連結会計年度の期首の利益剰余金が1,585百万円減少しております。

③ 連結子会社の増加

主に㈱PFU、㈱富士通エフサス、富士通エフ・アイ・ピー㈱の非連結子会社を第1四半期連結会計期間より連結子会社としたことにより、利益剰余金が7,027百万円増加しております。